

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2019年7月28日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	洲本市教育委員会	代表者名	増井 英喜
担当者部署	学校教育課	連絡先電話番号	0799-22-6266
担当者役職		担当者氏名	
住所	656-8686 兵庫県洲本市本町三丁目4番10号		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	松田 孝
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	自身が校長としてICT活用を実践してきた経験から得られた知見を惜しみなく教授いただいた。特に具体的なプログラミング教材を例にとりながら説明いただいた「小学校中学校9年間を見据えたプログラミング教育」の進め方については、自身の体験談や実践例をふんだんに盛り込みながら、なおかつ、国の動向やSOCIETY5.0社会における今後必要とされるICT活用能力について、分かりやすく示していただいた。
アドバイザーへの要望事項	本市の将来的なICT活用モデルの提案や助言を今後もいただきたい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2019年7月9日	15時30分	17時00分		90
3-2. 派遣場所	会場名	洲本市立加茂小学校		最寄駅	洲本IC
	所在地	洲本市下内膳470			
	最寄駅からの交通手段	送迎			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】 洲本市立小・中学校 教職員	人数 50人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	本市は人口減少が他の地域よりも激しく、公共交通機関も発達していない状況である。このような中、本市を支えていくには、人工知能やロボットなど効果的に活用し、社会的な問題を解決していく必要がある。そこで、子どもたちにはコンピュータの基本的な操作やプログラミング教育を含めた情報活用能力の育成が喫緊の課題である。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	①各校において、情報活用能力育成のためのカリキュラムづくりと、プログラミング教育の指導ができる教員の育成したい。 ②上記課題解決に向けて、教育委員会として将来的なICT環境整備のモデル像と整備に向けた予算等を含めた現実的な方策について、全体計画(概要)を作成する。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	①ICTの活用にとどまることなく、「これからの学校とは何か。授業とは何か」を見据えた、令和の時代の新しい「学びモデル」の在り方について。②これからの社会で教育者や学習者にとってどのような力が求められるのか、またどういった教育環境が必要なのかといった、教育全般についての助言。③chigojamを核にしたプログラミング教育で「情緒的・知的な気づき」「達成感を持たせる」「プログラミングの働きの良さを感じさせる」具体的方法。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	・プログラミング教育が、児童生徒にとって、自分たちの生活や社会的な問題の解決に繋がることが、指導者(教員)がイメージできた。 ・児童生徒に必要なコンピュータの基本的な操作やプログラミング教育を含めた情報活用能力の育成方法の具体的な過程がイメージできた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	・コンピュータの基本操作ならびに情報活用能力の育成に向けた、各校における指導内容と指導カリキュラムの検討。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケート未実施：今後市教育委員会で行う研修や担当者会等で、今回の事業について参加者から感想や意見を求める機会を設けるため。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい	③现阶段では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿	・今年度中に各校において、情報活用能力育成のためのカリキュラムづくりと、プログラミング教育の指導ができる教員を育成。 ・本市の10年後の将来像を明確にした、ICT教育・ICT環境の方向性と具体的施策を決定する。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

